

戸 塚 ・ 大 久 保 地 区 中 学 校 適 正 配 置 協 議 会 だ よ り	平成15年8月12日 NO.2
--	---------------------------

去る7月29日戸塚第一中学校で第2回の協議会が開催されました。はじめに事務局の資料説明と、統合の組合せについて具体的な案の提示があり、活発な討議が行われました。

事務局案は A = 戸塚一中と戸山中、大久保中と東戸山中、B = 戸塚一中と東戸山中、大久保中と戸山中の2案でしたが、主に小学校のPTA代表の委員から、単純に組合せるのではなく、新校にふさわしい新たな学区を設けるべきだとの意見があり、次回に事務局が通学区域の見直しが難しい理由をよく説明して、さらに協議していくことになりました。

次回は8月21日に開催の予定です。

協 議 事 項	主 な 内 容	
統合の時期、 統合新校の位置	まだ決定とは言えないが、戸塚一中と大久保中を校地とし、17年の4月実施ということで共通の理解ができつつある。	
統合の組合せ	【事務局案 - A】	戸塚一中と戸山中、大久保中と東戸山中の組合せで、通学区域は現在の通学区域をそのまま結合する。
	【事務局案 - B】	戸塚一中と東戸山中、大久保中と戸山中の組合せで、通学区域は現在の通学区域をそのまま結合する。
	【その他案 - C】	対象となる4校の通学区域全域を、南北に2つに分けて、それぞれの通学区域とする。 【C案の主張】 ・2つの学校がそれぞれ、通学区域のほぼ中央に位置することになって、すべての生徒が、近い学校に通うことができる。 【C案への反対意見】 ・東戸山中の通学区域が2つに分断されることになり、来年度、生徒がさらに減少して4学級になってしまうことも考えられ、教育活動や学校運営に大きな支障が出てくる恐れがある。 ・地域（通学区域）とのつながりは学校にとって大事な宝。一時的にでもつながりが消えてしまうことは教育活動に大きな影響がある

【事務局】

教育環境整備課

TEL (3341) 4358

FAX (3341) 9955

E-mail kyoikukankyo01@city.shinjuku.tokyo.jp